

## 令和4年度神戸大学前期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

### 国語

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。  
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和4年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

### 【出題の意図・評価ポイント】

#### 一（現代文）

いずれの問題も、長文の評論文を素材として、学力の三要素における「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価するものである。

問一、問二、問三 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的に試す記述式問題。傍線部の周囲だけを手がかりにするのではなく、傍線部の意味を文章全体の構成や論理の展開に照らしてとらえる読解力と論理的思考力が求められる。文章中のキーワードの情報を収集、整理する技能だけでは、設問が求める読解は得られない。また個々の文の意味を正確に読み取るための語彙力や一般常識も必要である。さらに解答に盛り込むべき内容を制限字数内で正確かつ簡潔な文章にまとめるための表現力、語彙力、記述力が求められる。

問四 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的に試す記述式問題。問一、問二、問三と同じ趣旨の問題であるが、全体を貫く論理の展開を正確に読み取ることが必要となる点で、より高度な読解力と論理的思考力を試す問題である。本文の論理を度外視してキーワードの情報を収集、整理する技能だけでは、設問が求める読解は得られない。また個々の文の意味を正確に読み取るための語彙力や一般常識も試される。さらに問一、問二、問三に比べて長い制限字数の解答を課することで、多数にわたる論点をただ列挙するだけではなく、それを適切に再構成して正確かつ簡潔な文章にまとめるための、より高度な表現力、語彙力、記述力を試す問題でもある。

問五 標準的な漢字の書き取りを課することで「知識・技能」を試す問題。ただし、いずれの漢字についても正答を得るには文脈を正確に理解する読解力を要するので、間接的には「思考力・判断力・表現力」をも試す問題である。

解答例 (a) 変貌 (b) 芝居 (c) 漠然 (d) 完璧 (e) 膨大 (厩大, 尨大)

## 二（古文）

### 問一

- ① 短い箇所を題材にして、きちんと文法的に理解し、構文を捉えられているかを点検した。
- ② 逐語訳でなく、具体的な内容を理解しているか、また自分の言葉で説明できるかを点検した。
- ③ 当該部分の状況を把握した上で、主語を適切に補い、なおかつ文法的に正しく分析して訳せているかを点検した。

問二 この和歌が詠まれた経緯を押さえつつ、詠み手の心情を的確に代弁できているかを問うた。

問三 登場人物の心情とその背景について、人間関係を理解しつつ制限字数以内で適切に論述することを求めた。

問四 課題文全体の流れを踏まえて、この和歌の内容を説明することを求めた。「ものゆゑに」「見まくほしさ」などの理解も確認する観点から、制限字数は設けなかった。

問五 古文常識に属する文学史の知識を有しているかを点検した。

問六 基本的な文法事項を理解できているかを点検した。

## 三（漢文）

### 問一

- ① 再読文字「且」の読みを正しく理解できているかを問うた。
- ② 「已矣」の読みを文脈から理解できているかを問うた。

問二 「焉」と「此」が指す内容を、文脈に照らして、意味を補いながら、現代語に訳せるかを問うた。特に、(b)では、疑問詞「何」の用法を理解できているかも評価のポイントとした。

問三 傍線部の前後の文脈を正しく理解した上で、簡潔かつ的確な日本語で表現できるかを問うた。

問四 比喻表現の指すものを正しく理解し、問題文全体の文脈を踏まえながら、簡潔かつ的確な日本語で説明できるかを問うた。